

日刊建設通信新聞（2024年1月15日付 3面掲載）

【最優秀プレゼンターに OCG 社員 ハノイ地盤工学国際会議】



最優秀プレゼンターに OCG 社員

ハノイ地盤工学国際会議

ベトナムのハノイ市で開催された第5回ハノイ地盤工学国際会議で、オリエンタルコンサルタンツグループ（OC

G）のレ・ブオン・ドン氏（総合開発事業部港湾部）が Ground Improvement セッションの発表論文40編の中から最優秀プレゼンターに選ばれた。

今回は世界40カ国から約1000人の地盤工学に関わる技術者が参加し、208編の技術論文が発表された。

レ・ブオン・ドン氏は「Design and lesson-learnt of the eco-friendly bamboo pile foundation in soft soil - A case study in Patimban deep seaport」と題して、現在実施中のインドネシア国パティンバン港開発事業で地盤改良工法に採用した同国の伝統的な竹杭・竹マット工法について発表した。写真。

同社からは同港湾部の水野龍太氏も Deep Foundation セッションに登壇。同じくパティンバン港開発事業での高塑性な粘性土層地盤における大口径で長尺の摩擦杭に関する設計について発表した。